

# 「全校外遊びの時間」 「島小タイム」で 運動遊びの日常化を

## 岐阜県岐阜市立島<sup>しま</sup>小学校

全校児童数	661名(男子352名 女子309名)		
全クラス数	22	教職員数	31名(内体育専科2名)
クラブ活動・運動部活動数	7	参加延べ人数	162人
地域のスポーツ指導者の活用(年間延べ人数)			6人

小学校

実践内容

### 取組時の課題と目的

#### 1 取組時の課題

本校では、休み時間に進んで運動遊びに親しむ児童と運動を避けて室内で過ごす児童に分かれており、「運動に対する二極化」への対策が課題となっています。

また、休み時間の遊びは、ドッジボールやおに遊び等、学級や学年の傾向により遊びの内容が固定化しています。

#### 2 取組の目的

- ①休み時間の全校児童による外遊びを奨励することにより、体を動かす遊びの日常化を図り、遊びの楽しさに浸らせるとともに、運動の活性化を図る。
- ②教育課程の日課に「島小タイム」を位置付け、学級や学年の裁量によって運動や遊びに取り組むことができる時間と場を確保し、新しい遊びや楽しい運動を経験できるようにして、運動の日常化を図る。

### 取組の内容（右ページも参照）

#### 1 「全校外遊びの時間」の奨励

##### (1) 中休みの外遊びの呼びかけ

従前より、業間休みの20分間は、外で元気よく遊ぶことが全校の約束となっていました。運動や遊びをあまり好まない児童は、室内で過ごす傾向にあります。

そこで、職員会議等で全教員の共通理解を図り、担任も積極的に外へ出て遊ぶようにする等、学級遊びの頻度を高めたり、放送委員会が呼びかけたりして、外遊びを促す活動を行っています。

##### (2) 縦割りグループ「なかよし遊び」の日常化

1年生から6年生の児童で縦割りグループを編成し、6年生がリーダーとなって、運動遊びを進めます。担当教員の指導の下、遊びの企画・運営は、すべてリーダーが中心となって行います。教員は児童と一緒に遊びながら、安全管理や運動の苦手な児童のフォローにあたります。

「なかよし遊び」は、毎月2回程度行い、学期に1回はウォークラリーや大なわ跳びのイベントも行い、運動の楽しさを味わいながら活動を進めています。

##### (3) 「島っ子チャレンジスポーツ」の取組

県や市のチャレンジスポーツ事業への参加に加え、簡単な運動で、本校児童に体験させたい運動に配慮した独自のチャレンジカードを作成し、遊具遊びや外遊び、なわ跳びなど、様々な運動に関心をもって取り組み、達成感が味わえるようにしています。

## 2 「島小タイム」の有効な活用

### (1) 日課の工夫

「島小タイム」は、帰りの会後の20分間を学級・学年の裁量時間として設定しています。主なねらいの一つは「学級集団づくり」にあり、学級遊びをはじめ、教育相談、ソーシャルスキルトレーニング等にあてたり、基礎的基本的な学習内容の定着や発展に生かしたりしています。

### (2) 「島小タイム」での学級遊び

学級遊びでは、一輪車やかけっこ、大なわ跳び等、様々な外遊びや仲間とかかわるゲームを行います。また、学年スポーツ大会を企画して、主体的に運動に取り組む意識を高めています。教員は、新しい遊びを紹介したり、プレリーダーと一緒に遊ぶことで、児童も意欲的に運動遊びを実践するようになります。

### ●工夫したこと

- ①縦割り遊びやチャレンジカードの活用、島小タイムの設定等、遊びの機会を多様に設けることで、遊びに親しむ楽しさや仲間と遊ぶ心地よさを味わい、主体的に遊ぶ意欲を高めることにつながるようにしました。
- ②「島小タイム」の活用の仕方を教員間で意見交換したり、遊びや児童の人間関係づくりに関する書籍を購入して研修したりして、運動遊びを通してルールの遵守や児童間の相互理解を深めて学級集団づくりに生かし、児童による主体的な遊びへと発展させ、運動の日常化につながるようにしました。

### 取組の成果（右上の表を参照）

- ①1週間の総運動時間が60分未満の男女の割合は、この4年間で13.3%から4.5%に減少し、1週間の総運動時間は、男子で約160分、女子で約170分増加しました。
- ②始業前の朝休みや放課後にも元気よく遊ぶ児童が増えました。保健室への来室児童数は減少傾向にあり、給食の残量も減る等、生活習慣の向上にもつながりました。

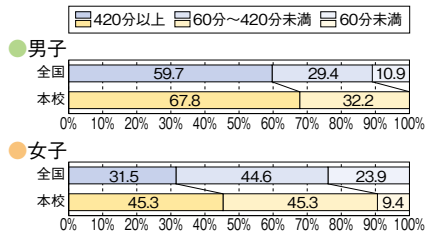
### 今後の課題

- ①運動時間の増大や体力・運動能力の向上は、平均値としての成果は認められますが、個々の児童については依然として体力低下や二極化への対策が課題です。
- ②年間計画に、一層意図的な体力向上の指導や日常的な委員会活動を位置付け、自ら進んで楽しむ運動や活動の設定に取り組んでいく必要があると考えます。

●1週間の総運動時間

		H21	H24
60分未満の割合 (%)	男子	4.9	0.0
	女子	18.8	9.4
	合計	13.3	4.5
1週間の総運動時間 (分)	男子	602.5	762.3
	女子	262.1	432.4

●1週間の総運動時間の分布 (H24)



●体力合計点と総合評価の割合

		男子		女子	
		H21	H24	H21	H24
体力合計点(点)		55.2	60.2	57.9	56.7
総合評価(段階別)	A	11.1	29.5	16.2	18.9
	B	31.1	36.1	41.2	28.3
	D	11.1	9.8	14.7	20.8
	E	6.7	0.0	2.9	1.9
	AB-DE	24.4	55.8	39.8	24.5

「全校外遊びの時間」における取組

縦割りグループ「なかよし遊び」の日常化 (児童会活動)



ウォークラリー

1年間を通して1~6年生の縦割りグループで楽しく遊びます。



大なわ跳び

6月: リーダー中心に遊びを企画し、各会場を回って色々な遊びを楽しみます。



11月: 大なわ跳びの連続跳びにチャレンジして記録を競います。

島っ子チャレンジスポーツ (健康指導部会)

島っ子チャレンジスポーツ

くめあて> いろいろな動きや運動ができるようになろう。

( )年 ( )組 ( )番 名前( )

\*できた日にちを書きましょう。一冊いたら担任の先生に出して、印をおしてもらいましょう。

種目	内容	月/日												達成		
1	ジャンブルジム	上まで1おろふく	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	😊
2		上まで2おろふく	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	😊
3	のぼりぼろ	1茶で上まで	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	😊
4		2茶で上まで	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	😊
5	うんてい	前向き	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	😊
6		前向き1段とばし	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	😊
7		後ろ向き	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	😊
8	らくぼく	上まで1おろふく	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	😊
9		上まで2おろふく	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	😊
10	てっぼう	前まわり	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	😊
11		さか上がり	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	😊

チャレンジカード

実施日を記入し、担任に印をもらいます。学級ごとにチャレンジ種目を決めていきます。各種目は、新体力テストの結果を参考にして決めます。体育の授業にもチャレンジしています。

運動種目の例

- 鉄棒
- 登り棒
- なわ跳び
- 一輪車
- 竹馬
- ドッジボール
- ランニング
- 他



一輪車にチャレンジ!

「島小タイム」の位置付けとその活用

島小タイムの日課

第5校時	13:50 ~ 14:35
第6校時	14:40 ~ 15:25
帰りの会	15:25 ~ 15:40
島小タイム	15:40 ~ 16:00
下校	16:05

5限授業の時も「島小タイム」があります。帰りの会から拡大して確保する工夫もできます。

島小タイムの活用

- 学級遊び
- 学年遊び・スポーツ大会
- ソーシャルスキル トレーニング
- 教育相談・係活動
- 学習・読書 他

「島小タイム」は『学級集団づくり』をねらいとして始めました。

島小タイムの遊びの例



4年生のドッジボール大会